



Lead【ニュース】

◇ 芋掘り&焼き芋 ◇ 10月20日(木)



当日は、晴天に恵まれ気温も30℃近くあったため、とても暑く感じられる日でしたが、9組21名の参加がありました。

今年は畑のさつまいもの育ちが芳しくなかったため、収穫するというより虫探しや土あそびが主になりました。草取りや芋掘りの最中、偶然見つけたカマキリやバッタに子どもたちは興味津々で、怖がることなく小さなカマキリを手を持つ子がいたり、芋を掘りながらもバッタやカマキリを探し、土あそびをしたりと楽しむ姿が見られました。

畑で収穫したさつまいもと事前に買ったさつまいもを混ぜて、アルミホイルに包んで焼きました。焼きあがるのを待つ間、子どもたちは手伝いに来た2年生の学生と芋を洗ったたらいの水で遊んだり、砂場で遊んだりして過ごしました。また、中庭になっているみかんを親子でもぎました。季節の果物を自分で収穫して食べるという経験も少ないので、「なかなかみかんって自分で採って食べられないからいいね」という会話も聞こえてきました。「みかん、すっぱいね」と言いつつも何度も美味しく食べてたり、水あそびでびしょ濡れ、泥だらけになったりと、普段あまり見られない光景を大人たちは微笑ましく見ていました。

焼きあがったさつまいもを食べている時に、初めて焼き芋を食べる子も、「おいしい」「おかわりちょうだい」「もっとください」と言葉や仕草で伝え良く食べていました。畑の小さな芋には安納芋も入っていたので、小粒ながらもとても甘く、子どもたちに人気がありました。子どもたちの美味しそうに食べる様子を見て、畑のさつまいもの大きさと予想される数を考え、芋掘りと焼き芋ができる分が収穫できるかという心配があり、そればかりに目を向けがちではなかったかと思いました。しかし、畑での芋掘り作業が子どもたちにとっては、さつまいもを探すという宝探しのような遊びになり、土あそび、虫探しと自然の遊びとなっていたので、大人が難しく考えるより子どもたちの環境の適応力はすごいなと改めて思うとともに、これも収穫の醍醐味だと明るい気持ちになりました。

5月の苗植えから10月の収穫時期まで、あっという間でした。季節が早々と移っていくなかで、こうした催しを行うことは、一つの節目にも感じられます。また、この催しは約半年の間継続されてきたともいえます。今年のさつまいもの育ちに関しては、畑の土の栄養が足りなかったのか天候の問題だったのか原因は解りませんが、作物を育てることの難しさを改めて感じました。



## ■ブロック たのしいね！ ■



ある日、初めて3歳のMちゃんから「ブロックで一緒にお花を作ろう」という誘いがあり、大きなブロックではなく、4・5歳児コーナーにある小さなブロックで一緒に遊びました。

Mちゃんは一人で黙々とブロックを組み立てていたの、スタッフは花に使う小さなパーツをブロックケースの中から探していました。その時に丁度、船の舵のパーツが出てきたので、スタッフも何か作ろうと思い船を作ることにしました。

Mちゃんの可愛い花畑が完成したのでスタッフと互いの作品を見せ合うと、Mちゃんは「船ではなく違う物を作ってほしい」とのことだったので、2人でパーツを探しながらブロックケースの写真のショベルカーを作ることにしました。ショベルカーが完成すると、大きな声で「すごい！ショベルカーだ！」と3歳のRくんが近づいてきました。すると、Rくんはすぐに「今度は何を作るの？」と質問してきたので、MちゃんとRくん「何を作ろうか？」と問いかけてみました。3人で考えている時に、「ショベルカーみたいに乗り物にする？」とスタッフが提案すると、Rくんから「飛行機がいい」という案がでたので、Mちゃんに確認すると「飛行機がいい」と2人で笑い合っていました。

飛行機といっても作り方が解らないので、急いでインターネットで作り方を調べ、組み立てを始めました。使うパーツが多いので床にブロックを広げて探しやすいようにし、ブロックの組み立てを進めていこうにしました。スタッフが組み立てている様子を見ていたMちゃんとRくんが、「ぼくが探してあげる」「わたしも」と2人でパーツを集め始めました。「これ？」「次は何を使うの？」と色や形の確認をしていました。



しかし、パーツも揃い、もう少しで完成という時に閉室時間になってしまいました。完成した飛行機で遊ぶのを楽しみにしていたMちゃんとRくんの喜ぶ顔が見たいと思い、次の来室時に遊んでもらおうとスタッフは閉室後に飛行機を完成させ、4・5歳コーナーにさりげなく飾っておくことにしました。MちゃんとRくんの次の来室時には、「せんせい！飛行機できたね！！」と嬉しそうに手に持ってスタッフの所までやって来て、じっくりと飛行機を眺めていました。

今回は、試行錯誤しながらブロックを組み立てていくことが楽しいというのではなく、子どもたちから完成された飛行機を求められました。一つの作品を仕上げるのにMちゃん・Rくん・スタッフ(大人)の3人がかかわり、飛行機が完成できたと思います。パーツを探す・集めるという工程も組み立てていく上では大事な作業であり、2人にとっては組み立てるとことよりもむしろ『探す』『見つける』という過程が楽しかったようです。「一緒に作ったね」という話をしたところ、「うん！」と2人とも嬉しそうでした。



Mちゃんは、物を作ったり、絵を描いたりしてから作品に名前を付けるのではなく、「花を作りたい」と自分の頭の中でイメージしながら作っていました。どうやったら作れるかと考えながら遊べるようになってきているのだと感じました。また、普段のたいむの遊びの中では、Rくんは『作る』というより『作った物』で遊ぶことが楽しいようで、ブロックで物を作るということがあまり見られていなかったと思います。ブロックのショベルカーをきっかけに、『おもしろそう』『やってみたい』など興味をもてた

のではと感じています。今では、1人で静かに小さいブロックを広げて遊んでいて、とても集中しています。

今回のこのブロック遊びは、新しい遊び(ブロック)へのきっかけを作ることができたのではと思います。同時に、子どもたちの興味や関心、やってみたいと思える気持ちに大人が寄り添えたことも良かったのではと思いました。

※ ブロックあそびは【形(作品)を作る⇒飾る⇒壊す】というくり返しの遊びの他に、【指先を鍛える・空間能力や想像力が育つ・集中力がつく】など、脳の発達に良いといわれています。

参考資料 年齢別おすすめブロック Mamanoko <http://mamanoko.jp/articles/23147> (読みやすい記事です)

## ◆ 東北地方のおやつを作りました！ ◆ 10月25日(火)

今回初の試みとして、2年生の櫛原悦子(いちほらえつこ)さんによる、おやつ作りを行いました。櫛原さんは50代の主婦の方でお子さん達も自立されていますが、保育士資格と幼稚園教諭免許を取得するために通われています。学生だけど主婦としてお母さん方と話をしたり、母として自分の子を見るかのように子どもたちと接したりするのを時々見かけます。その櫛原さんが、授業の「フィールドワーク」で岩手県遠野市に行った際、『がんづき』という東北地方のおやつ作りを体験してきたとのことで、たいむでも試食させていただきました。思いの外、子どもたちにも人気があり、お母さん方から櫛原さんに「レシピを教えてください」というやりとりになりました。そして、レシピだけではなくぜひ一緒に作りましょうということになり、この企画に至りました。



当日は、初対面のお母さん同士でも自然と会話が弾み、調理の方も笑い声が混じりながら楽しく進んでいきました。調理が進んでいくなか、2歳のWちゃんは「何をしているのかな？」という表情で大人たちの様子をじっと見ていました。Wちゃんのお母さんはその様子を見て、Wちゃんとがんづきの生地を混ぜたり、蒸かす前の生地の仕上げに黒ゴマを表面に振りかけたりと一緒に楽しんでいて、周りからは「子どもと一緒におやつ作りをするのっていいね」という話にもなりました。

20分程で蒸し上がったがんづきを切り分け、みんなで試食をすると、Wちゃんは昼食の前でしたが美味しそうに何度かおかわりをして食べていました。Wちゃんの美味しそうに食べる様子を見て、お母さん方と櫛原さんの表情も優しくとても微笑ましかったです。

親子で料理を楽しむ時間は日々の生活のなかでは、なかなか難しいのではないのでしょうか。たいむでのこの企画を通して、親子で料理を楽しむきっかけになればと思います。

※**がんづき**・・・岩手県や宮城県を中心とした東北地方の郷土料理。小麦粉や卵などを蒸した蒸しパンのようなもの。黒糖とはちみつ、牛乳も入れる。また、重曹の他に酢や味噌を加えて作るが、酢の味はしない。



## ◆ ハロウィーンをしたよ♪ ◆ 10月27日(木)

日本でも大きなイベントになってきているハロウィーン。たいむの室内にハロウィーンの装飾をしている時に、お母さん方から「たいむでもハロウィーンパーティーをやりたいね」「子どもに衣装を着せたい」と声があがりました。パーティーの提案者であるお母さん方と、どういことをしたら楽しいかなど話を進めていきました。また、当日は参加者みんなで室内の空間づくりやおやつ作りの下準備も行いました。



パーティーでは、フルーツポンチ、プッシュクリームやアイスなどのお菓자에デコレーションをしました。子どもたちには、バニラアイスクリームや缶詰のフルーツが人気で、美味しそうに食べていました。3歳の子どもたちは、近く大人の手を借りながらもアイスクリームディッシャーでアイスを盛り付けると嬉しそうに笑っていました。また、子どもたちの可愛らしいかぼちゃやマント、子猫などの仮装に、廊下を通る学生や教職員も「かわいいね」と自然に声をかけ、子どもたちと会話をすることもあり、ほのぼのとしたパーティーでした。

ハロウィーンをする目的や仮装する意味や歴史などは知らずに企画を実行しましたが、子どもが仮装するのも理由(魔物から子どもを守るために、“人間ではありません”という意思表示のため仮装させたことが始り)があったのだと解りました。ハロウィーンに限らず、一年のうちにたくさんの行事や催しがあります。それを一つのイベントとして楽しみながらも、由来やその歴史などを把握していくことで、今までとは少し違った楽しみ方もできるのではと思いました。今回は、季節の行事などにも目を向けていこうと思えた良い機会にもなりました。



### ◆ 中学生と一緒にあそぼう！ ◆

11月8日(火)、9日(水)、10日(木)に、おゆみ野南中学校の2年生3名が職場体験に来ます。

(たいむでは、今年も中学生をお引き受けすることになりました。)

#### 《中学生の職場体験の目的》

\* 中学生の職場体験の目的は『キャリア教育』の一環として、実際に働く体験を通し、働く人たちの喜びや苦労を実感する・働く人々とのふれあいを通して、社会人としての責任やマナーなどを身につける・体験を通して、職業についての具体的な内容や職業生活について理解を深めるとともに、生徒自身の進路選択に役立つ。(中学校より)

#### 《たいむで職場体験をする意義》

\* 本来は中学校からの職場を体験することを目的とした依頼ですが、たいむでは少し視点を変え『次世代の子育てをする人の育成』という別の意味ももたせています。

\* たいむに来ている皆さんは普段のままで構いません。普段の『生の子育ての様子』や『子どもを育てることは大変だけど楽しいよ』という雰囲気を中学生に伝えていただければ有難いです。

### ◆ 附属幼稚園の園庭であそぼう！ ◆

千葉明德附属幼稚園の休園日に、園庭で思いきり遊びませんか？



【日時】 11月9日(水) 10:00-13:00 ※雨天中止

【利用料】 100円(保険料)

※園庭の入口にて受付

※半年・年間会員の方はいただきません。

※会員でない方の参加も可能です。

【持ち物】 帽子・着替え・水筒・レジャーシートなど

※貴重品の管理などは各自でお願いします。

※昼食は11:30頃から園庭で食べられます。

### ◆ 短大1年生による「うたとお話のひろば」 ◆

学生の昼休みに、季節のうた・パネルシアターを行います。

【日時】 11月10日(木) 11月24日(木)

\*両日とも 13:00-13:15

【場所】 たいむ

### ◆ 今月のまんぷくcafé ◆

○まんぷくcafé 11月11日(金) 16:00-20:00 (食事の提供は、17:30ころより行います)

○今月のメニューは、ハンバーグを予定しています！

### ◆ 今月のTOYS(学生広場) ◆

○TOYSは、学生主催の広場です。OPENからCLOSEまでを石井ゼミの学生が行います。また、1日に2回、活動を行います。\*企画は、学生の授業での計画時に変更することがありますがご了承ください。

11月1日(火) 10:00-16:00 小麦粉粘土

11月15日(火) 10:00-16:00 秋の演奏会

11月29日(火) 10:00-16:00 焼き芋